

日本政治史 I

科目ナンバリング POL-103
【V】 選択 2単位

浜井 和史

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、幕末から太平洋戦争に至るまでの戦前期全般の時期における日本の政治と外交の歴史について解説する。特に、明治立憲体制の成立とその展開過程を中心に取り上げ、戦前期における「デモクラシー」の可能性と挫折について考える。また、内政と対外関係が密接に連動しているとの観点から、国内政治の動向のみならず、国際環境の変動や日本が遂行した戦争にも着目する。

2. 授業の到達目標

- ・戦前期における日本の政治と外交の歴史についての基本的知識を習得する。
- ・戦前期における日本の政治と外交の特質について理解し、考察する能力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

学期末レポート課題(50%)と授業内の小課題(40%)、平常点(10%)で評価する。レポート課題は、授業内容をよく理解して書けているかが評価基準の重要なポイントとなる。ネットからの剽窃やコピー等は不正行為とみなして然るべき処置をとる。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に教科書は指定せず、関連書籍を適宜授業内で紹介する。

参考文献

清水唯一朗、瀧井一博、村井良太 『日本政治史—現代日本を形作るもの』(2020年) 有斐閣
北岡伸一 『日本政治史—外交と権力(増補版)』(2017年) 有斐閣

5. 準備学修の内容

授業では戦前期の日本政治外交に関する膨大な情報量を扱うので、ノートや配布資料の見直しなどの復習により、知識を定着させる努力を怠らないこと。

6. その他履修上の注意事項

- ・普段から日本の政治や外交の歴史に関連するテレビ番組や新聞・雑誌記事に目を通すよう心がけること。
- ・対面授業中の私語や携帯・スマホの使用は厳に謹むこと。行為によっては退出を命じることや、以後の受講を認めない場合がある。
- ・オンライン授業の実施については変更もありうるので、指示をしっかりと確認すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス／御威光の体系と公議公論の尊重
- 【第2回】 徳川政治体制の崩壊と新秩序の模索1
- 【第3回】 徳川政治体制の崩壊と新秩序の模索2
- 【第4回】 近代国家の建設と公議公論のゆくえ
- 【第5回】 藩閥政府と自由民権運動の始動
- 【第6回】 明治立憲体制の成立
- 【第7回】 大日本帝国憲法の特質と初期議会
- 【第8回】 日清・日露戦争
- 【第9回】 桂園時代から大正政変へ
- 【第10回】 大正デモクラシーの時代
- 【第11回】 「憲政の常道」の時代
- 【第12回】 軍部の台頭と立憲政治の危機
- 【第13回】 政党の終焉
- 【第14回】 満洲事変と国際的孤立
- 【第15回】 太平洋戦争への道